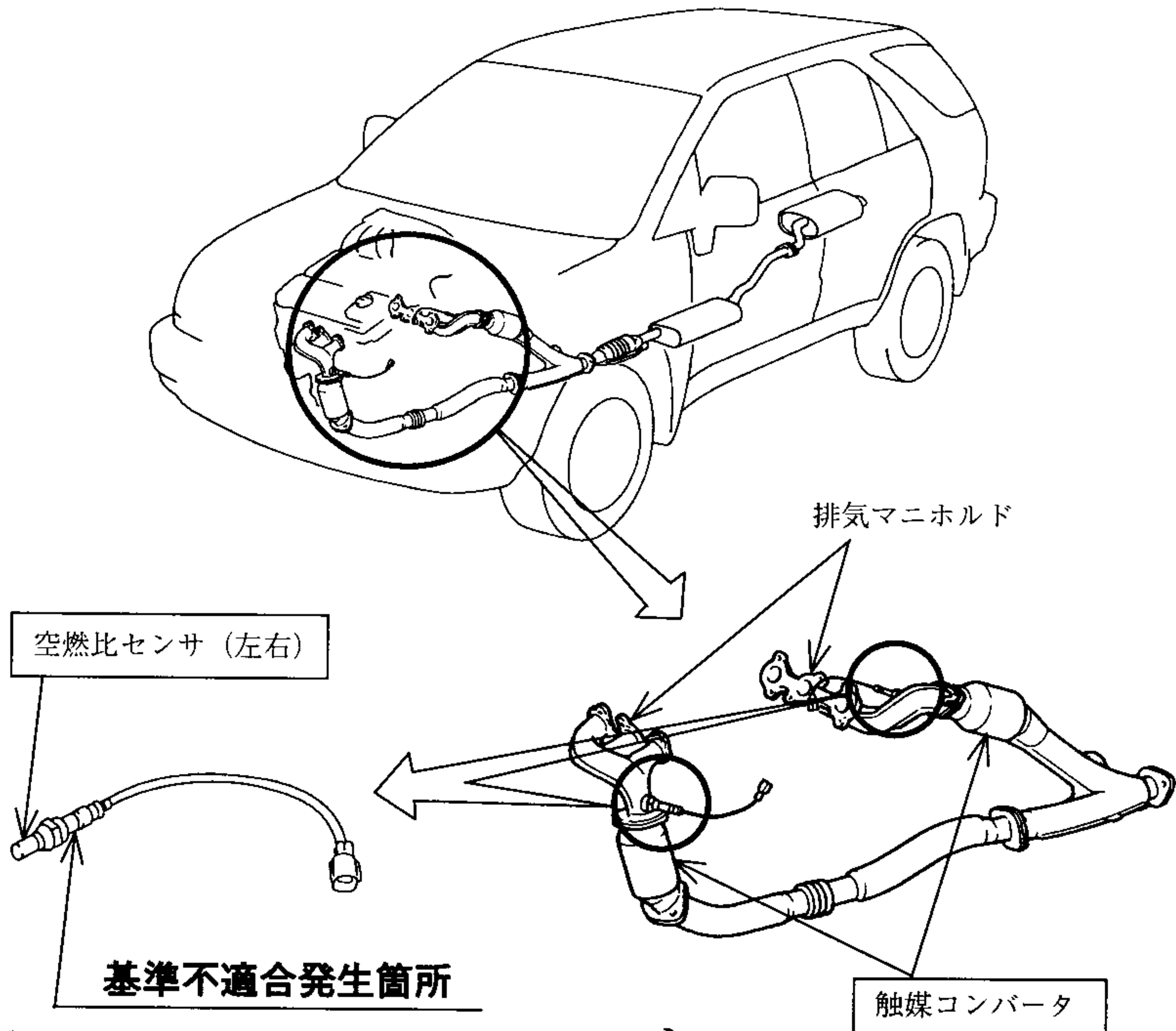


改善箇所説明図



左右の排気マニホルドに設置された排出ガス中の酸素濃度を検出する空燃比（空気と燃料の比率）センサの内部配線の接続が外れることがあり、そのままの状態で使用を続けると当該センサからの信号が出なくなって、適正な空燃比が得られなくなり、触媒コンバータが異常加熱して損傷するとともに、排出ガス値が基準値を超えるおそれがある。

注： は交換部品を示す。

改善の内容

全車両、当該空燃比センサを良品と交換するとともに、触媒コンバータを点検し、損傷しているものは新品と交換する。

識別：改善済車両にはエンジンルーム内にあるネームプレート左側に黄色ペイントを塗布する。